

オオタニワタリ

[シダ] 《嗜好》



ガジュマルに着生しているもの。



孢子嚢群は葉の中肋から縁まで。短いものはシマオオタニワタリ。



新芽は巻いていて柔らかい。

区別のポイント

葉は単葉で広披針形、長さは大いもので1 m。多数の葉を放射状に出す。樹幹や岩上に着生する。

形態 常緑性のシダ植物。

分布 伊豆諸島・紀伊半島・四国・九州・沖縄

名前の由来 谷間の湿った場所で樹幹に付くことを谷を越えて渡っていると見た。

葉 **〈全体〉**単葉で広披針形。全縁で鋭頭、基部はくさび形。革質で無毛。
〈葉柄〉ごく短い。

備考 シカ密度の低い南部で確認、沖縄では山菜利用。

出典 4